

総合的に展開する主要政策（案）

柱 (5)	大項目 (17)	中項目（主要政策） (33)	めざす姿 (33)	小項目（主な施策の見出し） (89)	
1 持続可能で安定した「確かな暮らし」を守る	1-1 地球環境を保全する	(1) 持続可能な脱炭素社会をつくる	・2050ゼロカーボン実現に向けて、徹底的な省エネルギーの推進と再生可能エネルギーの普及拡大の取組により、温室効果ガス排出量の削減が着実に進んでいる。	① 省エネルギーを推進する ② 再生可能エネルギーの普及を拡大する ③ 総合的な地球温暖化対策を推進する	
		(2) 人と自然との共生社会を実現する	・自然環境の保全と適切な利用により、美しく豊かな自然と多様な生態系が維持されている。	① 生物多様性・自然環境の保全を推進する	
		(3) 良好な生活環境の保全を推進する	・清らかで豊かな水環境と清浄な大気環境が保たれ、良好な生活環境が維持されている。	① 水環境の保全を推進する ② 大気環境の保全を推進する ③ 廃棄物の適正処理等を推進する	
	1-2 県土強靱化の推進など災害に強い県づくりを進める	(1)		・過去の災害の教訓を踏まえたインフラ整備の推進や地域防災力の強化により、頻発化・激甚化する自然災害から、県民の生命と財産が守られている。	① 災害に強いインフラ等の整備を推進する ② 流域治水を推進する ③ 逃げ遅れゼロに向けた避難対策を推進する ④ 危機管理防災体制を強化する ⑤ 地域防災力を強化する ⑥ 消防体制を充実・強化する
	1-3 交通や水道など社会的なインフラの維持・発展を図る	(1) 持続可能なインフラ管理体制を構築する	・施設の統廃合や共有、管理の共同化などにより、持続可能なインフラ管理体制が構築され、人口減少下においても県民の安心・安全な生活が維持されている。	① インフラの長寿命化と生活インフラの経営基盤を強化する ② インフラの有効活用や民間との協働を推進する	
(2) 確かな暮らしを支える地域公共交通を確保する		自家用車に頼らなくても自由に移動できる環境が整備され、誰もが安心して通院・通学・通勤・買い物などの日常生活を送っている。	① 持続可能で最適な交通ネットワークを構築する ② MaaS等の新たなモビリティサービスの基盤づくりを推進する		
1-4 健康づくり支援と医療・介護サービスの充実を図る	(1) 健康づくりを推進する	・県民一人ひとりが健康を意識した生活を送り、生涯にわたり元気に自立して暮らしている。	① ライフステージに応じた健康づくりを推進する ② 疾病予防を推進する		
	(2) 充実した医療・介護提供体制を構築する	・超高齢化や新興感染症のまん延などの社会の変化に対応できる地域医療や介護の体制が構築され、県民がどこに住んでいても安心して医療・介護サービスを受けることができる。	① 医療提供体制を充実する ② 地域包括ケア体制を確立する ③ 医療・福祉人材を確保する		
1-5 県民生活の安全を確保する	(1)		・社会情勢の変化に伴い複雑化・多様化する犯罪や、交通事故、食品・医薬品等の安全など、日々の生活に影響を及ぼす様々なリスクが最小化され、県民の安全・安心な生活が維持されている。	① 消費生活の安定・向上を図る ② 食品・医薬品等の安全対策を推進する ③ 山岳遭難対策を推進する ④ 安全・安心な社会づくりを推進する ⑤ 交通安全対策を推進する ⑥ 自殺対策を推進する	

柱 (5)	大項目 (17)	中項目 (主要政策) (33)	めざす姿 (33)	小項目 (主な施策の見出し) (89)
2 創造的で持続可能な産業をつくる	2-1 産業の生産性と県民所得の向上を図る	(1) 成長産業の創出・振興を図る	<ul style="list-style-type: none"> 健康・医療・介護、次世代交通、環境・エネルギー、IT、食品分野などの成長期待分野の先見的な研究開発・新規参入やイノベーションの創出が県内で活発に行われ、社会課題を解決するとともに、新時代の競争力の源泉となっている。 DX、GX、SDGs・ESG経営、ダイバーシティ経営などの考え方が経営に導入されるとともに、創業・事業承継により、産業界の新陳代謝が活性化されることで県内企業の競争力が強化され、持続可能なビジネスモデルが実現されている。 	① 成長産業・次世代産業の新規参入・事業拡大・集積を促進する ② 創業・スタートアップの増加・育成を推進する ③ 持続可能な経営力、競争力を強化する ④ 中小企業の成長の方向性に合わせた経営を支援する ⑤ 産業としての農林業を振興する
		(2) 稼ぐ力とブランド力の向上を図る	<ul style="list-style-type: none"> 信州の魅力が国内外に継続的、効果的に発信され、多くの分野で信州ファンが創造されている。 	① 国内外で販路拡大を支援し、稼ぐ力を高める（インバウンドの推進を含む ※再掲[3-1(6)③]） ② 信州ブランドを発信し、ブランド力を強化する
		(3) 産業人材を育成・確保する	<ul style="list-style-type: none"> 産業構造の変化に対応するための知識やスキルをいつでも学べることにより、産業界が求める人材が育成されている。 	① クリエイティブ人材の育成強化・確保定着を図る
		(4) 所得向上を推進する	<ul style="list-style-type: none"> 成長と分配の好循環により県民の所得が向上している。 	① 公正な待遇の確保を促進する（+所得向上）
	2-2 人や社会に配慮した環境再生的で分配的な経済を実現する	(1) 循環経済への転換に挑戦する	<ul style="list-style-type: none"> 県民の考えや行動が大量生産・大量消費から循環利用に転換し、生産・流通・使用・再資源化・廃棄といったライフサイクル全体で資源循環の高度化が進んでいる。 	① 環境等に配慮した製品を開発・提供する ② 環境等に配慮した製品・サービスを利用する ③ 廃棄物を削減、再資源化する
		(2) 地域内経済循環を推進する	<ul style="list-style-type: none"> 地域外から獲得した資金が地域内で循環し、地域に雇用と所得を持続的に生み出している。 	① 地域内消費を拡大する ② 地消地産を推進する
	2-3 地域に根差した産業を活性化させる	(1) 生活必需産業の担い手確保を推進する	<ul style="list-style-type: none"> 農業、林業、建設業など、人々の暮らしにかかわる産業の担い手が安定的に確保、育成されている。 	① 地域産業の担い手確保と育成を推進する ② デジタル技術等の導入による省力化・自動化を推進する
		(2) 地域に根差した産業の活力を高める	<ul style="list-style-type: none"> サービス産業や加工食品産業、伝統的工芸品産業など、地域に根差した産業が活力を維持し、発展している。 	① 地域に根差した産業を振興する ② デジタル技術等の導入による省力化・自動化を推進する ※再掲[2-3(1)②]

柱 (5)	大項目 (17)	中項目 (主要政策) (33)	めざす姿 (33)	小項目 (主な施策の見出し) (89)
3 快適でゆとりのある暮らしを創造する	3-1 住む人も訪れる人も快適な空間をつくる	(1) 地域の特徴を生かし、自然の恵みを生かした地域をデザインする	・森ある暮らし、農ある暮らし、都市緑化などにより、県民が快適で潤いのある暮らしを送っている。	① 自然とのふれあいを促進する ② 暮らしの場としての農山村を支援する ③ 森林の多面的な利活用を推進する ④ 快適で魅力あるまちづくりを推進する
		(2) デジタルの力を活用して便利で快適な暮らしを実現する	・県民生活や行政サービスなど、様々な分野で利用者目線でのデジタル化が進み、どこでも誰もが便利で快適に暮らすことができている。 ・デジタルの力により、様々な地域課題が解決されている。	① 暮らしにまつわるDXを推進する ② データ利活用等を推進する ③ 先端技術等の早期導入へチャレンジする
		(3) 持続可能な地域づくりを推進する	・地域の関係者が課題解決に自主的・主体的に取り組み、住民が真にゆたかな暮らしを実現し、地域が持続的に発展している。	① 自主的・主体的な地域づくりを支援する ② 新時代に適合した県と市町村の関係を構築する
		(4) 本州中央部広域交流圏を形成する	高速交通網等が整備され、地域間交流や観光の促進、県内産業のさらなる発展につながっている。	① 高規格道路等の道路ネットワークの整備を推進する ② 信州まつもと空港の利便性向上と更なる活性化を推進する ③ リニアを活かした地域づくりを推進する
		(5) 移住・交流・多様ななかかわりを展開する	・長野県の魅力（自然、歴史・文化、公正な社会、ゆたかな暮らし等）が多くの人をひきつけ、県外・海外からの移住・交流や県内地域との多様ななかかわりが活発に行われている。	① 人や企業の呼び込みを推進する ② つながり人口を創出・拡大する ③ 世界と積極的につながり、交流を推進する
		(6) 暮らす人も訪れる人も楽しめる世界水準の山岳高原観光地域づくりを推進する	・観光交流により地域活性化や地域課題の解決が図られ、暮らす人も訪れる人も長野県を楽しんでいる。	① 観光地域づくりを推進する ② 「長野県観光」のプロモーションを展開する ③ インバウンドを推進する
	3-2 文化、スポーツの振興などゆとりある暮らしを創造する	(1) 文化芸術を振興し、文化芸術の力により新たな価値を創造する	・県民が生活の様々な場面で文化芸術に親しみ、心豊かに暮らしている。	① 文化芸術活動の創造力・発信力を向上させる ② 文化芸術の力を様々な領域へ拡大させる ③ 地域の歴史・文化・芸術に興味関心をもつタッチポイントを充実する
		(2) 「信州やまなみ国スポ・全障スポ」の開催を契機とし、スポーツ振興を推進する	・第82回国民スポーツ大会・第27回全国障害者スポーツ大会を契機に、多くの県民がスポーツに親しむとともに、スポーツが地域づくり、社会の活性化に寄与している。	① 「信州やまなみ国スポ・全障スポ」の成功に向けた準備を実施する ② 誰もがスポーツに参画し、楽しさを体感できる機会を充実させる ③ スポーツの持つ力を多面的に活用する

柱 (5)	大項目 (17)	中項目 (主要政策) (33)	めざす姿 (33)	小項目 (主な施策の見出し) (89)
4 多様性が尊重される温かく公正な社会をつくる	4-1 子どもや若者の幸福追求を最大限支援する	(1) 若者の結婚・出産・子育ての希望をかなえる	・すべての若者に、結婚・出産・子育ての希望を実現するために必要なチャンスとアクセスが保証されている。 ・出生数の減少に歯止めがかかり、子どもと子育て家庭が安心して生活できている。	① 結婚を応援する ② 妊娠・出産の安心を向上させる ③ 子育てを応援する
		(2) 一人の子どもも置き去りにされず、成長のための社会環境を整備する	・子どもや若者が置かれた環境で自らの希望をあきらめることなく、いつでもチャレンジすることができる。	① 困難を抱える子ども・若者や家庭を支援する ② 学校と福祉分野との連携を強化する
	4-2 年齢、性別、国籍、障がいの有無等が障壁とならない公正な社会をつくる	(1)	・誰もが互いに人格と個性を尊重し合い、あらゆる社会活動に参加する機会が確保されている。 ・年齢、性別、国籍、障がいの有無などにかかわらず、誰もが多様性や違いを認め、社会や地域で個性や能力を発揮している。	① 人権・多様性が尊重される社会をつくる ② 障がい者共生社会を実現する ③ 生活困窮者等の援護を要する人々を支援する
	4-3 働き方改革の推進と就労支援の強化を図る	(1)	・必要な知識やスキルをいつでも学べることや、ライフスタイルに合った働き方を選ぶことにより、女性や障がい者、高齢者など、誰もが仕事・家庭・地域活動などを自らの希望に沿った形で行っている。 ・雇用形態等による待遇格差が解消され、多様な人材の活躍と安定した就業が実現している。	① 多様な働き方の導入と公正な待遇の確保を促進する ② 多様な人材の労働参加を支援する
4-4 高齢者の活躍を支援する	(1)	・シニア世代が培ってきた豊富な知識や経験を生かし、生きがいを持って地域社会の一員として活躍している。	① シニア世代の社会参加を促進する	

柱 (5)	大項目 (17)	中項目 (主要政策) (33)	めざす姿 (33)	小項目 (主な施策の見出し) (89)
5 誰もが主体的に学び続けられる環境をつくる	5-1 一人ひとりが自分にとっての幸福を実現できる学びを進める	(1)	<ul style="list-style-type: none"> ・「個別最適な学び」と「協働的な学び」の循環により、すべての児童生徒、教職員にとって居心地のよい意欲に満ちた学校の中で、自ら問いを立て、課題解決に主体的に立ち向かえる力が育まれている。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 個々の可能性を伸長する高校教育を充実する ② 幼児期に育まれた好奇心や探究心をより伸ばしていく義務教育を実現する ③ 教職員が安心して子どもの学びに寄り添うことができる環境を整備する ④ 特色ある学びを振興する ⑤ 高等教育を振興する
	5-2 一人の子どもも取り残されない「多様性を包み込む」学びの環境をつくる	(1)	<ul style="list-style-type: none"> ・多様な学びの機会が確保され、すべての子どもたちが互いを認め合い、持てる力を最大限発揮している。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 多様な認知特性に柔軟に対応できる学習空間を創出するとともに、学校外の学びの場の拡充及び連携を促進する
	5-3 生涯にわたり学び合える地域の拠点をつくる	(1)	<ul style="list-style-type: none"> ・学校、地域、企業、大学など、地域に関わる人々が対話し、学び合い、共に地域づくりを推進している。 ・子どもから大人まで、すべての県民がいつでもどこでもだれとでも学べる環境が整っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 学校を核として多様な個性が混ざり合い、共に学び、共に創る「共学共創」の地域づくりを推進する ② 生涯を通じて学ぶことができる環境を整備する